

評価基準

教科	総合的な学習の時間	学年	3学年
----	-----------	----	-----

単元名	時数	単元の目標	評価基準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
わたしたちの町、再発見	4	探究的な活動を通して、自分たちの住む町を見直し、身近な所にも新しい発見があることに気づき、今後の生き方に活かすことができる。	○見方を変えることで、身近な所にも気付かなかった発見があることを知り、町には自分たちの生活を支えてくれる様々な人がいることなどを理解している。	○自ら設定した課題に対して、解決のための見通しをもち、目的を明確にして計画を立て、調べ学習をしている。 ○友達と分担して調べたり、分かったことをまとめたりしようとしている。	○身近な地域に興味・関心をもち、自分の調べたいことを見付けようとしている。 ○自らが調べたことを基に、友達と協力して課題解決に取り組もうとしている。
生き物はかせになろう	7	蚕を育てる学習をきっかけに、生き物について興味をもち、生命の神秘や不思議などについて考えていくことができる。	○蚕の生態を観察したり、育て方を調べ実践したりする活動を通して、生き物には様々な特徴があることを理解している。	○蚕の生態や育て方などについて、収集した多様な情報を分類・整理し、分かりやすく伝えるための内容や方法について考えている。	○蚕の生態や育て方などに興味・関心をもち、自分の調べたいことを見付けようとしている。 ○友達と協力して、蚕の世話や観察をしようとしている。
西っ子小松菜研究隊	9	社会科の「農家の仕事」の学習をきっかけに、小松菜農家の仕事に興味をもち、小松菜づくりを行う上での農家の方の工夫や苦労について考えていくことができる。	○小松菜栽培の工夫や苦労について、自らが知りたいことを直接インタビューしたり、調べたりする活動を通して、小松菜農家の思いを理解している。	○小松菜農家での取り組みを知るために、事前の調べ活動や、ゲストティーチャーへの質問など、自分が必要とする情報を集めるための方法を考えている。	○小松菜農家の取り組みに興味・関心をもち、自分の調べたいことを見付けようとしている。 ○自らが調べまとめたことを、相手に分かりやすく伝えようとしている。
もったいない大作戦	7	身近にある「もったいない」を探す活動を通して、身近な自然環境と、そこに起きている環境問題について考えていくことができる。	○身の回りには、自分では気が付いていない「もったいない」状況が多くあることに気づき、それらが環境に影響していることを理解している。	○身の回りのもったいないことや無駄をなくす努力についてインタビューしたり、グループの友達と解決策について話し合ったりすることを通して、意見をまとめ発表している。	○活動を通して考えたこと・感じたことから、自分の生活を見直し、自分のよさや不十分さがわかり、よりよく生活しようとしている。
昔の暮らしを知ろう	8	社会科の「むかしの暮らし」の学習をきっかけに、昔の人々の生活の工夫や、科学技術の進歩、自分たちの暮らしの変化などについて考えていくことができる。	○昔の道具や地域の人々の暮らしの様子や変化が、人々の願いや知恵によるものであることを理解している。	○昔の道具を使っていた頃と今の暮らしの違いや変化、人々の暮らしの知恵などについて調べる活動を通して、自らの考えを適切に表現している。	○活動を通して得た経験や知識などを、今後の生活に活かしていけるように、目的意識をもって活動している。

評価基準

教科	総合的な学習の時間	学年	3学年
----	-----------	----	-----

単元名	時数	単元の目標	評価基準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度